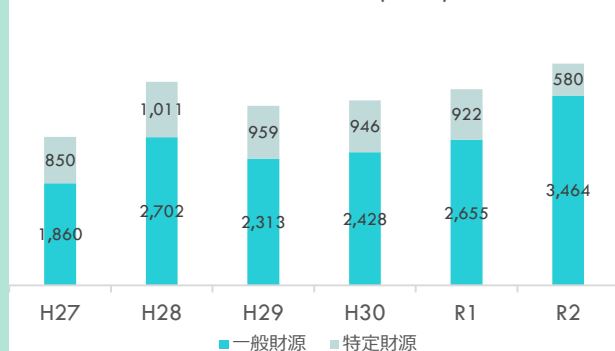
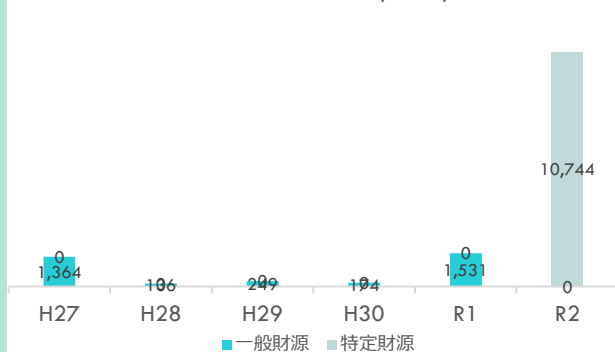


水道課

経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)

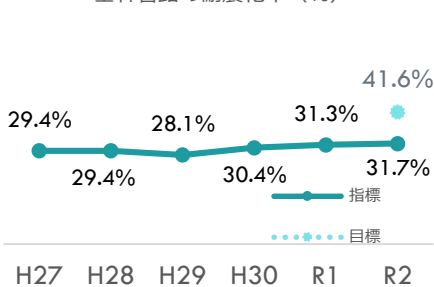


現状と課題

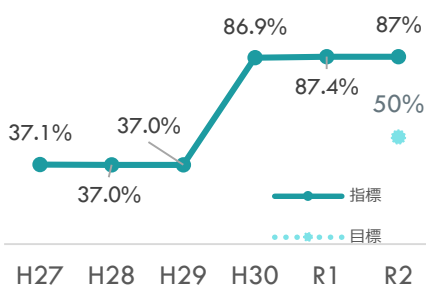
人口減少や利用者の節水意識の浸透などから水需要の伸びは見込めず、厳しい経営状況にあります。その中で、老朽化した多くの管路や施設の更新とともに、大規模地震などへの対策が求められており、収支のバランスを保ちながら計画的に施設の更新と整備を進めていかなければなりません。あわせて、水質管理体制の強化など、質の向上に取り組むことで、付加価値の高い市民サービスを実現していくことが求められています。

成果指標

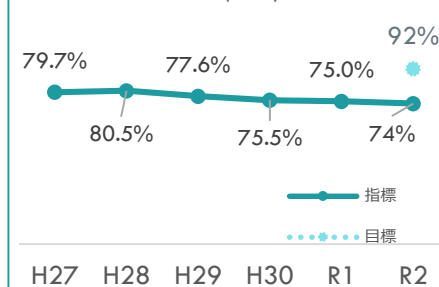
基幹管路の耐震化率 (%)



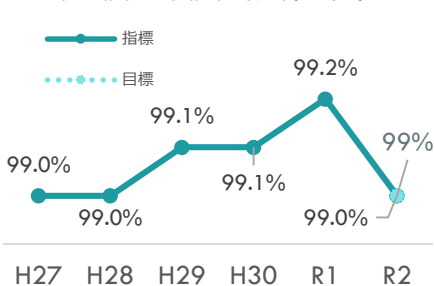
配水池の耐震化率 (%)



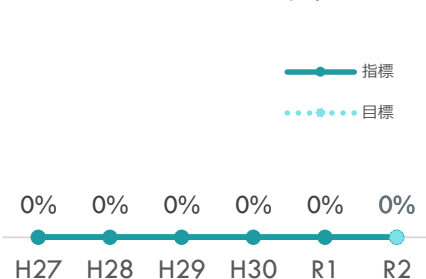
年間有収率(水道) (%)



料金納付の収納率(現年) (%)



水質基準不適合率 (%)



指標の説明・・・

健全経営を行いながら施設の更新と耐震化を進めることが課題解決の柱となります。

施設の更新と耐震化を同時に進めることで有収率の向上を見込み、あわせて料金の納付率を向上させることで徴収コストの削減と収納率向上を図り、健全経営を目指すものです。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行 (万円)	特定財源 (万円)	アウトプット (どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム (どれだけの成果が得られたか)
基幹管路の大規模地震対策	災害対策の充実	耐用年数が経過した基幹管路の更新に伴い、耐震化を実施する。	企業会計	2,460万円	-	水道管の延長116.9m	基幹管路の耐震化率31.3%
配水池の大規模地震対策	災害対策の充実	鹿久居島配水池の耐震化を実施	企業会計	2億262万円	-	有効容量200㎡の配水池を建設	耐震化率87.4%
水質管理体制の強化	安心・快適な給水の確保	紫外線処理施設の整備	企業会計	2億9,959万円	-	DBO方式により坂根浄水場に整備中	水質基準不適合率0%
付加価値の高い市民サービスの実現	サービス水準の向上	料金納付の収納率向上	企業会計	6億4,754万円	-	調定件数：延べ91253件	料金納付の収納率99%
有収率の改善	安定供給の継続	漏水調査を実施する。	企業会計	500万円	-	漏水箇所を82件発見し、修繕した	年間有収率74%

施策の評価

一次評価者	役職	水道課長	上水道は、高度経済成長期に急速に整備されたことから、水道施設や管路の老朽化が進んでいます。また、老朽化した管路からの漏水や寒波等の自然災害により漏水量が増加したことにより有収率が低下しています。 このため、継続的な漏水調査を実施、老朽化診断等を踏まえて管路更新の優先順位付けを行うことで、健全経営を行いながら施設の更新と基幹管路の耐震化を進めています。
	氏名	杉本成彦	
二次評価者	役職	建設部長	安心・安全な水道水の安定供給は市民にとって重要なライフラインです。基幹管路や浄水場などの施設について更新、耐震化を重点化し、老朽化調査、漏水調査の結果をもとに、優先順位を決め計画的に進めてください。
	氏名	淵本 安志	